

わんぱく学園ニュース

平成17年 12月号 No.120

秋、美しく紅葉していた木々も、北風にはらはらと舞い散りはじめ、屋根に路に我が庭先に降る落ち葉……そう…冬の訪れを告げる頃となりました。「谷川を、這うて流るゝ、冬紅葉(ふゆもみぢ)」～^{同時}に 垣

陰暦10月(今年は11月2日～12月1日)神の旅がはじまり、出雲地方は神在月でしたね。

11月11日には全国から800万(やおよろず)の神様が出雲大社に集まれ、翌日から神々のイベントともいえる神在祭が催されたようです。

その11月12日私は、東京の友人と出雲大社へ出向きました。いつも以上に多く神在月の出雲を楽しむ参拝者と出会いました。

丁度、この日から一週間神々は、本殿の東西にある19社に宿され、大国主命と向こう一年の縁結び等の会議をされるとか…何となく神秘的でロマンを感じました。

「建物を見ただけでも時代を越えたものを感じた。タイムスリップした…荘厳な雰囲気……。どう考え、どう生きていたか?とても興味深かった」と、初めて出雲大社へ参拝した友人は、そう語ってくれました。

国づくり発祥の地とも語り継がれているこの地には、貴重な財産・歴史的なものが沢山あることを、外から訪ねて来る方から気づかされ再認識した思いがいたしました。

私たち大人は21世紀を担う子どもらと共に、もっと自分たちが暮らしている地域の良さ・素晴らしさを見つめ、見直してみることの大切さを思い知らされたひとときでもありました。

友人のあの感動した表情に……

♡嬉しいお手紙が届きました!

「タペストリーが繋ぐ夢」

松江病院小児科医長 河原 仁志

11月2～3日と鹿児島で難病患者であり人工呼吸器装着しているギタリスト石黒剛志のライブを行った。2日間で6ライブという強行スケジュールであったが、大成功であった。

このライブの目的は盛りだくさんであり欲張りな企画であったが、一言で言えば「障害を持つ方が元気になって欲しい」ということだった。その象徴として、「わんぱく学園」で作られたタペストリーをお借りして会場に飾らせてもらった。二階からロビーまでを使い展示したが、その迫力に圧倒される人が続出した。私は「どうだ。まいったか」と胸を張ることが出来た。

障害を持つ方との共生を模索する今、こういった感性を圧倒することによる感動の共有が相互理解のために必要であると確信した瞬間であった。 皆さん、有り難うございました。

◆12月の「わんぱく学園」メニューは、下記の通りです。

12月 4日	クリスマス会(平田小通級指導教室共催) 場所~平田子育て支援センター 福祉棟・光人塾となり 曜 9:00~13:00 会費子供1000円、大人500円(プレゼント代・昼食代等) (担当)原幸枝・安食祥子(平田小教63-5222)
11日	リースや長靴づくりしない? ミチル喫茶も楽しみ♪ (担当)植野良樹(ギャラリー“ミチル”)
18日	粘土コネコネして あ〜そぼ! わいわいガヤガヤ囲炉裏囲んで合併鍋パーティー! (担当)安食ひろ 場所~アトリエ“おちらと”
25日	“平成温泉”で のんびり(一年の疲れをいやそうね) 入場料500円準備してね おやつ・飲み物は学園で (担当)福田稔・土江和世

集合時間 9時30分 集合場所 光人塾前駐車場

《学園の問い合わせ 土江09077745913》 [文責 土江和世]